

19-11-27

知立駅付近連続立体交差事業に伴い
12月14日（土）から知立駅の北改札口側の駅舎を
仮駅舎に切り替えて使用開始します

名古屋鉄道では、名古屋本線・三河線 知立駅(知立市栄 2-60)付近の鉄道高架化工事について、事業主体である愛知県に協力し、2010年より工事着手し進めてきましたが、本年12月14日（土）の始発列車から、知立駅の北改札口側の駅舎を仮駅舎に切り替えて使用開始します。

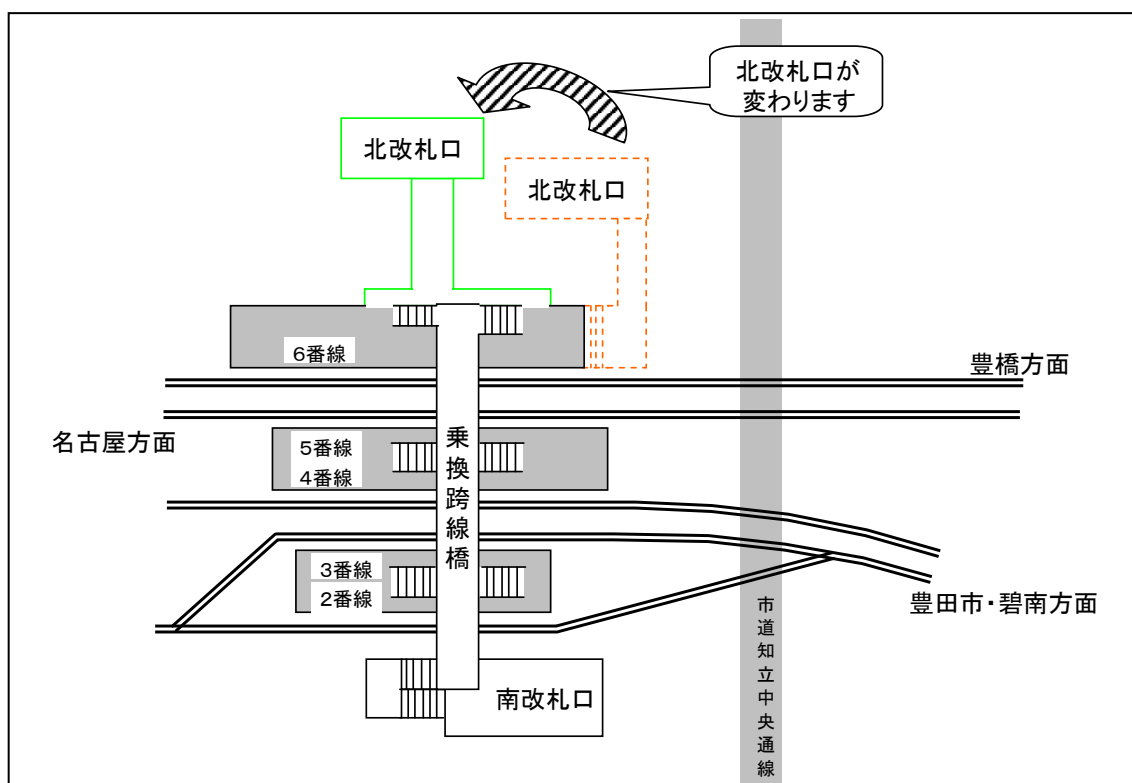
今回の切り替えにより、北改札口の位置が変わります。

今後も、名古屋本線・三河線の仮線工事や高架本体工事を継続して施工します。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 仮駅舎使用開始予定 12月14日（土）始発列車から
※予備日：翌日（列車の運行状況等によっては、順延する可能性があります）
2. 場 所 知立駅北改札口側
3. 切替の内容 知立駅北改札口側にある現駅舎を仮駅舎に切り替えます。



知立駅の概要図

【知立駅付近連続立体交差事業】

事業名	知立駅付近連続立体交差事業		
事業主体	愛知県		
事業区間	名古屋本線	刈谷市 <small>ひとつぎちょう</small> 一ツ木町 五丁目から知立市内 <small>うちさいわいちょうかとう</small> 幸町 加藤まで	
	三河線豊田市方面	知立市 <small>いけはた</small> 池端 一丁目から知立市 <small>うしたちょううらじんきり</small> 牛田町 裏新切まで	
	三河線碧南方面	知立市 <small>いけはた</small> 池端 一丁目から知立市 <small>ひがしかみしげはら</small> 東上 重原 四丁目まで	
事業延長	名古屋本線	約 1.6 km (高架延長 約 1.6km)	
	三河線豊田市方面	約 1.9 km (高架延長 約 1.2km)	
	三河線碧南方面	約 1.5 km (高架延長 約 1.5km)	事業延長計 約 5.0 km
踏切除却数	10 箇所(内 緊急対策踏切 1 箇所)		

以上